

## 75分で理解するオンライン 1級面接対策 第14回本試験ケース分析

日程 カリキュラム (75分) 20:00 から 21:15

(税込み価格)

本ケースの分析を行うメリットは以下の5つです。

日本全国の受検者が同じ3つのケースで準備をしています。自分の苦手部分を12月中に克服し、自身の特長を出せるようにしましょう。

- ① 事例相談者の気持ちや聴いてほしいことをリアルにして関係構築を強化します (関係構築力と問題把握力)。
- ② 事例相談者が気付いていない面談上のスキルを見立て、気づいてもらうための方向性を見出します (関係構築力と問題把握力)。
- ③ 考えられる目標を明確にすることで、試験会場で迷い少なくなります (問題把握力)。
- ④ 目標をいくつか用意しておくことで、その場でできる数分程度の方策 (レッスン) を用意しておくことができます (問題把握力と具体的展開力)。
- ⑤ 抵抗されたときの対処法に加え、状況を口頭式問で回答することで加点に結び付ける引き出し増やすことができます (関係構築力と問題把握力)。

日程	講義とロールプレイのケース	オンライン 事例相談者の解説 75分	会員	一般
① 12月9日 (月)	「関係重視型」の事例相談者の分析	①「関係重視型」または②「問題解決型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技術上の問題は何かを解説します。事例ごとに、事例相談者の何を傾聴し、事例相談者の相談したいことをどのように要約して試験官に伝えるか、その後、指導者として見立てたことに気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得ようかで、考えられる方策 (その場で行うレッスン) の案を考えます。	12,000	15,000
	事例相談者の相談したいことと、事例相談者が気付いていない、面談技術上のクセや課題を検討します。相談者の話を傾聴するのがCCの役割と理解し、相談者の本質的問題に焦点を当てない事例相談者への対応を強化します。			
② 12月16日 (月)	「問題解決型」の事例相談者の分析	①「関係重視型」または②「問題解決型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技術上の問題は何かを解説します。事例ごとに、事例相談者の何を傾聴し、事例相談者の相談したいことをどのように要約して試験官に伝えるか、その後、指導者として見立てたことに気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得ようかで、考えられる方策 (その場で行うレッスン) の案を考えます。	12,000	15,000
	事例相談者の相談したいことと、事例相談者が気付いていない、面談技術上のクセや課題を検討します。相談者の問題解決のためにアドバイスすることがCCの役割であると理解している事例相談者への対応を強化します。			
③ 12月23日 (月)	「相談者対応型」の事例相談者の分析	①「関係重視型」または②「問題解決型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技術上の問題は何かを解説します。事例ごとに、事例相談者の何を傾聴し、事例相談者の相談したいことをどのように要約して試験官に伝えるか、その後、指導者として見立てたことに気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得ようかで、考えられる方策 (その場で行うレッスン) の案を考えます。	12,000	15,000
	事例相談者の相談したいことと、事例相談者が気付いていない、面談技術上のクセや課題を検討します。相談者の話す内容に全て応えるのがCCの役割だと理解している事例相談者への対応を強化します。			
		3日間受講の方 (※キャンセルはできません)	31,500	40,500